

瀋陽駐在員事務所

「中国旗袍と日本浴衣の出会い」

8月6日、遼寧友誼賓館において「中国旗袍と日本浴衣の出会い」が開催されました。ところで「旗袍（チーパオ）」とは何でしょうか…中国語で「チャイナドレス」のことです。「日中平和友好条約」締結40周年イベントとして、遼寧省友佳国際旅行社が主催し、遼寧省外事弁公室と在瀋陽日本総領事館の後援で行われました。在中国日本大使館横井大使が来賓として出席し、日中友好交流関係者や日中民族衣装の愛好者など200人が集まり、イベントは大いに盛り上がりました。

会場では、日中両国ボランティアが、着物、浴衣、チャイナドレスに身を包み、イベントに花を添えました。日本側は、日本美容研究家の東優妃先生が、日本の着物と浴衣について紹介し、その後10数名の中国人女性が浴衣を着て、みごとな盆踊りを披露しました。中国側は、チャイナドレスの由来、時代による変遷、礼儀などについて紹介し、モデル顔負けの「チャイナドレスファッションショー」を披露しました。会場には企業展示ブースも同時に設置され、当事務所も「北海道観光ブース」を出展し微力ながら協力させていただきました。



張 璐

北陸銀行バンコク駐在員事務所

「タイ人のお財布事情」

サワディーカップ（こんにちは）。突然ですが、みなさんはお昼ご飯にいくら使いますか？500円ランチを食べる方、タイ人の金銭感覚に直すと1,500円くらいの価値だにご存知でしたか。今回はタイ人の金銭感覚についてお伝えします。

タイの通貨タイバーツ（THB）は現在日本円に対して約3.5円/THBですが、タイ人と同様の生活をするとう物価が安く感じる事があります。例えば、当事務所近くの地元民利用率98%のタイ料理店では50THB、約165円でランチ1食が済みます。しかし、この50THBのランチ、日本人には非常に安価に思えますが、一般のタイ人には日本人の500円ランチの感覚と同じです。

この差はなぜでしょうか。例えば、日本の大卒初任給平均は約215,000円であるのに対し、バンコクの日系企業で働くタイ人（日本語可）の初任給平均は20,000THB（約66,000円）と日本の1/3~1/4の水準です。タイ人の感覚を我々日本人の感覚と一致させるにはタイバーツの表示をそのまま10倍にすると思います。

日本から食品を輸出する際にはこの辺の事情も踏まえた方が良くはないかと思えます。一方で日本製食品は日本での小売価格の3~4倍で売られていて、収入が1/3~1/4の人々が日本の値段の3~4倍で購入することになります。

いかがでしたか？現地情報の1つとしてご利用頂ければ幸いです。



奥山 桂史

ウラジオストク駐在員事務所

「海」をテーマとした日露交流が真っ盛り！

ウラジオストクに住むロシア人は海をこよなく愛しており、夏はもちろん、冬にも海水浴や海岸通りでの散策、ヨットなどを楽しみます。

今年は「ロシアにおける日本年」・「日本におけるロシア年」という日露の記念すべき交流年ですが、海を身近なものとするウラジオストクにおいては、「海」をテーマとしたイベントが数多く行われています。

6月1日には、日本人学生約100名が乗船する日本の帆船「海王丸」（商船学校の練習船）がウラジオストクに入港するとともに、当地滞在に際して、海洋国立大学（ロシア）の学生達とともに、帆船の共同訓練、スポーツ大会、会議などのイベントにより交流を深めました。

また、8月10日には、文部科学省プログラムにより、日本人学生64名が研究船「望星丸」にて、留萌港からウラジオストク港に入港するとともに、当地で共同の教育事業を行いました。そして、8月12日には、日本人学生とともに、極東連邦大学及びサハリン国立大学のロシア人学生約40名がウラジオストクから日本へ向かうとともに、洋上や日本国内における研修で友好交流を図りました。

さらに、今年9月の第4回東方経済フォーラムと同時期には、様々な帆船やヨットの国際レースが予定されており、ロシアや日本をはじめ、中国、韓国、ベトナム、インドネシア、ドイツ、フランス、ブラジルなどの多数の国が参加する一大イベントとなる見込みです。

このレースは、ウラジオストクに接するアムール湾とウスリー湾で行われますので、ヨットスポーツに関心のある方は、是非ウラジオストクへ！



ユルキナ・ヴィオレッタ